会報 ともしび

発行所
一般財団法人
広島県動員学徒等犠牲者の会
事務局
広島市南区比治山本町12-2
広島県社会福祉会館内
〒732-0816　電話（082）252－0316
印刷所　Taisei

デジタルブック
“慟哭の証言”
http://www.douingakuto.com/

僕は戦争は大きらい

理事長　本地正治

２０２６年の核拡散防止条約（NPT）再検討会議に向けた第３回準備委員会が、２週間の議論を終え、今年の５月９日に閉幕しましたが、各国の意見がまとまらず、核保有国と非保有国との溝は埋まりませんでした。議長は「全会一致の合意を得られる状況にない」として、採択を見送り〝議長による勧告〟として記録に残しました。

NPTには、核保有国と非保有国の双方が加盟しており、現在世界の１９０国余りが加盟しています。核保有国９国の中で、北朝鮮は脱退し、イスラエル、インド、パキスタンは非加盟国となっています。過去２回の再検討会議では、成果文書を採択できず決裂しています。次回の再検討会議は、２０２６年４月から５月にかけて、ニューヨークで開かれます。次回も２度の過ちを繰り返し３度目の決裂となるのでしょうか。再検討会議の存在意義を価値あるものとするためにも、〝２度あることを３度繰り返す〟ことなく、〝３度目の正直〟となる成果を期待したいものです。

我が国は、外務省発行の２０２５年版外交青書で、核軍縮に向けてNPTを重視する考えを強調し、「NPTが核兵器のない世界に向けた唯一の普遍的な枠組みである」と、新たに記述しています。であるならば、次回の再検討会議では、被爆者の願いを叶える核軍縮に向けて、我が国は先頭に立って、建設的な議論を推し進めてもらいたいものです。

太平洋戦争に従軍し、「アンパンマン」の原作者であり、「てのひらに太陽を」の作詞家で知られる「やなせたかし」氏の作詞「ぼくは戦争は大きらい」をご紹介します。

「ぼくは戦争は大きらい」

戦争を語る人がいなくなることで、日本が戦争をしたという記憶が、だんだん忘れ去られようとしています。

人間は、過去を忘れてしまうと同じ失敗を繰り返す生き物です。

今年は被爆80周年を迎えますが、負傷した学徒ご本人及び死没した学徒のご遺族にとりましては、原爆投下により心に深く刻み込まれた悲しい記憶や体に残るいたましい傷跡は、何年たっても完全には癒えることはなく、悲惨な事実が風化してしまい忘れ去られることも、悲しく残念に思っておられることでしょう。

また、全国の被爆者の数は、１９８０年度末の約37万人をピークに減り続け、今年度中には10万人を割り込む可能性があり、平均年齢は約86歳を超えようとしています。年々被爆者数は減っていき、被爆模様を実体験として語り、核なき平和を訴える人々が少なくなることは、世界で核使用の危機に瀕している現在、誠に憂慮すべきことのように思えます。

終わりに、尾道市出身の俳優〝東ちづる〟さんの、最近の語録をご紹介します。

年を重ねると、体の不調や不具合はあるだろうけど、精神の自由は解放されていく。

既存の価値観や、他人からの評価なんか気にしないで、自分のワクワクやHOPEを大切にできるようになります。

ご高齢になられた会員の皆様は、体力や気力の衰えから、何かと弱気になっておられる方もいらっしゃると思いますが、どうぞ気を強くお持ちいただき、〝ケセラセラ！〟と被爆90周年、１００周年をお迎えいただきますよう、心より祈念いたしております。

8月6日原爆死没者追悼式ご案内

今年も8月6日に会として第六十九回追悼式を執り行います。

八時十五分から
追悼式（学徒慰霊碑前）

九時から
ご来賓による献花

当日の午前中は、これまでどおり死没者名簿の閲覧などを行います。また、会員・関係者の皆様用のテントと椅子を準備しています。

お暑い時で大変とは存じますがお体にお気を付けていただきお参りくださいますようご案内いたします。

（ご注意）本年も、広島市主催の追悼式典への入場規制が実施されることから、午前九時までは原爆ドームエリアを含む平和記念公園への入園は、入り口は五ヶ所に限定され、手荷物検査が実施されます。

ごあいさつ

広島県健康福祉局
社会援護課長
勝田　徹

この度、健康福祉局社会援護課長に就任し、援護行政に携わることになりました。よろしくお願い申し上げます。

最愛の肉親を失われましたご遺族の皆様におかれましては、決して癒えることのない深い悲しみを胸に、多くの苦難を乗り越えてこられたところであり、その間の御心労と御苦労のほどは、察するに余りあります。

今年は多くの動員学徒の方々が犠牲となられました、先の大戦が終結して八十年の節目の年に当たります。終戦から長い年月が経過し、戦争を直接知らない世代が多数を占めるようになり、人々の戦争の記憶が風化することが懸念されるところです。

戦争の惨禍を繰り返さないためにも、戦争の悲惨さや、戦没者の方々の尊い犠牲の上に今日の我が国があることを次の世代に語り継ぐとともに、再び戦禍により尊い命が失われることがないよう努めていかなければなりません。

本県では、援護関係施策のより一層の充実に向け、皆様とともに全力を傾けてまいる所存でございます。

終わりに、貴会の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

ごあいさつ

広島市健康福祉局保健部保険年金課
福祉医療担当課長
倉本　千春

広島県動員学徒等犠牲者の会の皆様におかれましては、日頃から本市行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

この度、健康福祉局保健部保険年金課福祉医療担当課長に就任し、援護行政に携わることとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

先の大戦において負傷され、あるいは最愛の御家族を亡くされた会員の皆様におかれましては、長きにわたり、肉体的にも精神的にも大きな苦痛に耐えてこられました。その痛みはいかばかりかと拝察申し上げます。

戦争経験者や被爆者の高齢化が一層進み、記憶の風化が懸念されますが、今日のわが国の平和と繁栄の礎は数多くの動員学徒や女子挺身隊員の方々の尊い犠牲により築き上げられたものであり、そのことを私たちは決して忘れてはなりません。そのためにも、被爆者の平和への思いである「ヒロシマの心」をしっかりと次世代へ引き継いでいくことが、人類史上最初の被爆の参加を経験した本市の責務であると考えています。

被爆八十周年を迎える本年は、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた決意を新たにし、世界中に「平和文化」を根付かせ、平和を願う市民社会の総意が世界中の為政者の心に届くような取組をより一層推進していきたいと考えています。

戦後の復興・成長を支え、このまちを築き上げてこられた先人の努力を受け継ぎ、平和文化の振興に資するまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、皆様には、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴会の益々の御発展と、皆様の御健勝・御多幸を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

令和七年度　ご担当の方々

広島県

健康福祉局長　北原加奈子
社会援護課長　勝田　徹
援護恩給グループ
主査　原田　珠希
主査　坂本友一郎
主査　見藤　裕幸
主査　船石　幸恵
主査　古東　美緒
電話　082-513-3036

広島市

健康福祉局保健医療担当局長　加賀谷哲郎
健康福祉局保健部次長　遠山　郁也
健康福祉局保健部保険年金課
福祉医療担当課長　倉本　千春
健康福祉局保健部保険年金課課長補佐
(事)管理係長　久保まこと
健康福祉局保健部保険年金課主事　松木　美波
電話　082-504-2159
健康福祉局原爆被害対策部調査課
事務指導員
(慰霊等事業補助金担当)　浜岡　克宣
電話　082-504-2191

被爆80年周年施策の実施

本年度は被爆後80年の節目に当たることから、次のとおり当会としての「被爆80周年施策」を実施し、原爆投下により死傷した悲惨な動員学徒の実相を再確認し、「核と戦争のない平和」の実現への願いを一層高め、これまで以上に原爆死没学徒の慰霊に努めることとします。

1　研修会の実施

２０２５年度の研修会として、〝プラスＤＯの会〟の方々による〝関千枝子〟作の平和朗読劇を観劇しました。本朗読劇は、広島第二県女二年西組級友たちが、原爆投下の日にどのように生き、どのように未来を奪われたか、そして、生き残った関千枝子氏がどんな思いで記録し続けたかを語り継いでいます。また、映像や音楽を交え、より臨場感をもって原爆投下による悲惨さを伝える構成となっていました。

【平和朗読劇公演概要】

タイトル：「広島第二県女二年西組　〜原爆で死んだ級友たち〜」
と　　き：２０２５年５月17日㈯
と こ ろ：日本福音　ルーテル広島教会
公演時間：約90分
当会からの出席者：28名
主　　催：朗読劇「広島第二県女二年西組」広島公演実行委員会

2　ともしび第１４３号（２０２５・11・30付）へ80周年特別号の掲載

①動員学徒関連の「原爆の絵」の掲載

広島市立基町高校で美術を学ぶ生徒が、２００７年から被爆者の証言を基に毎年制作している「原爆の絵」の中の動員学徒関連の作品を、作成時の被爆者の感想、絵を描いた高校生の感想などとともに、〝ともしび〟へ掲載します。

「原爆の絵」は、被爆体験者の心に深く記憶している悲惨な光景を、リアルな絵に再現して、後世に伝え残していくための貴重な作品です。これらを〝ともしび〟に掲載し、会員のみなさまに高校生が被爆者の証言をもとに作成した絵のすばらしさや、言葉や文字ではとても表現できないリアルな実相に触れていただき、動員学徒の原爆被害の悲惨さ、平和の重要性さについて、再認識していただきます。

②その他特別号への掲載案

ア　当会のレジェンドである寺前妙子さんと村中和子さんの、国に対して動員学徒を準軍属に認定してもらう活動の初期模様など
イ　当会役員渡美津子さんの被爆体験記「77年前のトラウマ」
ウ　当会役員の平和朗読劇観劇感想文

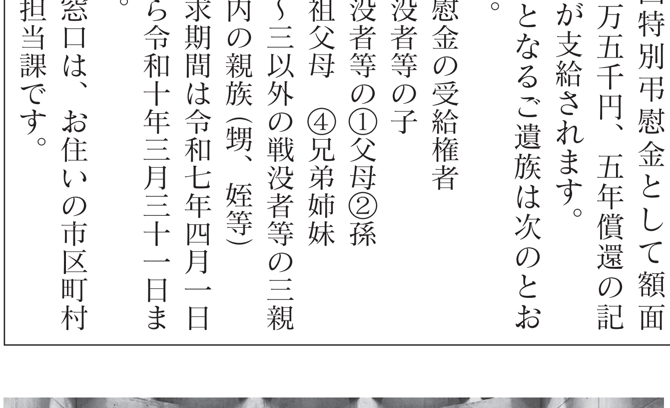
戦没者等のご遺族の皆様へ
特別弔慰金が支給されます

戦没者等（動員学徒を含む）の死亡当時のご遺族で、令和七年四月一日において遺族年金等を受ける方がいない場合に、第十二回特別弔慰金として額面二十七万五千円、五年償還の記名国債が支給されます。

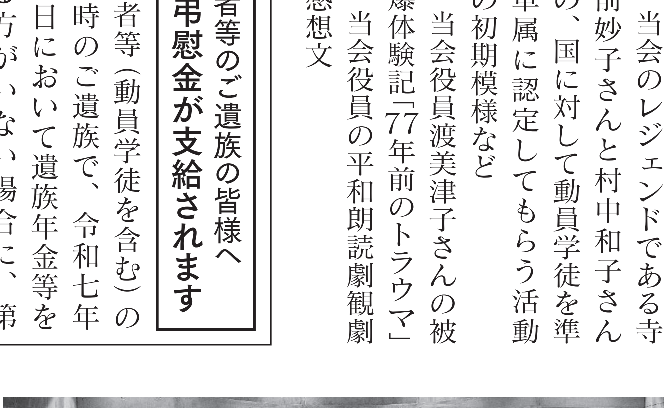
対象となるご遺族は次のとおりです。

一　弔慰金の受給権者
二　戦没者等の子
三　戦没者等の①父母②孫③祖父母　④兄弟姉妹
四　一〜三以外の戦没者等の三親等内の親族（甥、姪等）
五　請求期間は令和七年四月一日から令和十年三月三十一日まで。

請求窓口は、お住いの市区町村の援護担当課です。



平和朗読劇スタッフご一同



平和朗読劇公演の一幕

令和6年度 事業報告書

１ 広報活動の実施

(1) 原爆死没者追悼式の案内
会報「ともしび第140号」に追悼式の案内を記載して送付した。

(2) 会報「ともしび」の印刷・配布
・令和６年６月30日付け第140号　８７０部
・令和６年11月30日付け第141号　８７０部

(3) ホームページの運用
ア　会報「ともしび」140号、141号の掲載
イ　６年度アクセス数累計　1，745件
（5年度アクセス数1，205件）

(4)「慟哭の証言」等を関係機関等に配布
慰霊塔に千羽鶴を献納していただいた団体等（小学校等）へ冊子「慟哭の証言」等を送付した。
送付数：３件（昨年度４件）

(5) 慰霊塔説明チラシの設置・配布
慰霊塔の説明チラシを常時設置し、機会あるごとに参拝者に配付するなど、理解の一助にした。
（3万部配布）

(6) 動員学徒等の顕彰と会の設立趣旨の広報
慰霊塔の清掃日等を利用して、随時、参拝者に対して原爆、空襲、動員学徒等犠牲者の状況等について説明した。

２ 第68回原爆死没者追悼式の挙行

日　時　令和６年８月６日(火)
午前８時15分から
場　所　動員学徒慰霊塔前広場
実施内容　祭壇・テントを設置し、原爆投下時刻に参加者全員により黙祷を実施した。
黙祷のち、式辞・来賓の追悼の言葉・学校代表の追悼の言葉をいただいた。
その後、来賓の献花をいただいた。
また、死没者名簿の閲覧対応を行った。閲覧希望者数は11件であった。（昨年度26件）

３ 動員学徒慰霊塔の清掃・供花・英霊供養

月日	参加者数	供養会(西向寺)
4月11日	14人	○
4月19日	13人	−
4月26日	14人	−
5月9日	22人	○
5月24日	21人	−
6月6日	15人	○
6月20日	16人	−
7月11日	15人	○
7月22日	14人	−
8月5日	13人	○
8月22日	13人	−
9月5日	15人	○
9月19日	15人	−
10月7日	16人	○
10月17日	16人	−
11月7日	15人	○
12月5日	17人	○
12月19日	19人	−
1月9日	15人	○
2月6日	18人	○
3月6日	18人	○
3月24日	19人	−

合計22回延353人参加（昨年度387人）

４ 役員会等の開催

開催日	内容
6・4・19	監事会 令和５年度決算関係監査
6・5・9	理事会 議案第１号　令和５年度事業報告に関する件 議案第２号　令和５年度決算の承認に関する件 議案第３号　定時評議員会の招集の決定に関する件 議案第４号　理事、監事、評議員の選任に関する件
6・5・24	定時評議員会 議案第１号　令和５年度事業報告に関する件 議案第２号　令和５年度決算の承認に関する件 議案第３号　理事、監事、評議員の選任に関する件
6・7・11	理事会 原爆死没者追悼式の実施打合せ
7・3・24	理事会・評議員会 議案第１号　令和６年度収支予算の補正に関する件 議案第２号　令和７年度事業計画に関する件 議案第３号　令和７年度収支予算に関する件

５ 研修会の実施

令和６年８月22日に開催。
広島国際会議場で開催された高校生が描いた「原爆の絵」の展示を見学。
見学後の感想等をともしび第141号に掲載した。

６ その他

(1) 慰霊塔の修繕及び周辺の環境整備
特に実施無し。

(2) 会員数
令和７・３・31　６６０名

令和６年度　収支決算書

令和６年４月１日から令和７年３月31日まで

（単位:円）

科目	当年度A	前年度B	増減A-B	増減理由
Ⅰ　経常利益.経常費用				
1　経常増減の部				
(1)経常収益				
事業収益				
追悼式典事業収益	225,000	246,500	△ 21,500	
受取補助金等				
地方公共団体補助金	448,000	433,000	15,000	
受取寄付金				
受取寄付金	106,000	168,000	△ 62,000	
雑収益				
受取利息	27,934	27,947	△ 13	
雑収益	776,710	864,285	△ 87,575	
経常収益計	1,583,644	1,739,732	△ 156,088	
(2)経常費用				
事業費				
会議費	0	0	0	
旅費交通費	202,000	235,790	△ 33,790	
通信運搬費	205,682	199,362	6,320	
消耗品費	134,000	154,000	△ 20,000	
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	288,900	278,650	10,250	
光熱水費	35,989	42,870	△ 6,881	
保険料	17,000	17,000	0	
委託費	278,580	272,920	5,660	
賃借料	0	0	0	
諸謝金	560,000	560,000	0	
支払負担金	120,000	120,000	0	
雑費	154,641	166,065	△ 11,424	
事業費計	1,996,792	2,046,657	△ 49,865	
管理費				
会議費	0	0	0	
旅費交通費	139,000	118,000	21,000	
通信運搬費	91,183	83,029	8,154	
消耗品費	40,793	16,099	24,694	
印刷製本費	11,187	11,317	△ 130	
光熱水費	0	0	0	
賃借料	0	8,800	△ 8,800	
諸謝金	160,000	160,000	0	
公租公課	21,000	21,000	0	
支払負担金	323,672	338,834	△ 15,162	
雑費	200,353	304,726	△ 104,373	
管理費計	987,188	1,061,805	△ 74,617	
経常費用計	2,983,980	3,108,462	△ 124,482	
(3)当期経常増減額	△ 1,400,336	△ 1,368,730	△ 31,606	

ピースメッセージ設置場所

ピースメッセージ広場

富士見台展望台

要人による平和へのメッセージ
（比治山の富士見台展望台に設置されているメッセージ碑）

広島市内の比治山公園では、原爆の惨禍から復興した市街地の街並みを眺めながら、平和への思いを共有しつつ、戦争や平和について考えることができるよう、広島を訪れた世界の為政者や著名人が残した「平和へのメッセージ」を記す碑を、ピースメッセージ広場と富士見台展望台に設置しています。

ピースメッセージ広場の碑は、２０２３年５月のＧ７広島サミットにおいて、各国首脳が広島平和記念資料館を訪問した際に残した「平和へのメッセージ」を記す碑（９基）が設置されていますが、これらのメッセージは、当会発行のともしび第１３８号（令和６年６月30日発行）に掲載しましたので、今回は紹介を割愛させていただきます。

富士見台展望台は、広島市が１９８０年に政令指定都市に移行したことを記念して整備された展望台で、南方向と西方向を望む二つの視点場があります。南方向を望む視点場からは、戦争遺構が残る似島（別称：安芸の小富士）を始め瀬戸内海に浮かぶ島々などを眺望することができ、西方向を望む視点場からは、原子爆弾の惨禍から復興したデルタ市街地の街並みを眺望することができます。

この展望台には、世界の為政者やノーベル平和賞受賞者などの著名人が、広島平和記念資料館を訪問した際に、芳名録に残した「平和へのメッセージ」を記す碑（12基）が設置されています。

今回はこれら12碑を、ご紹介します。

＊（　）は、広島平和記念資料館訪問年月日
＊肩書は、資料館訪問時点のもの

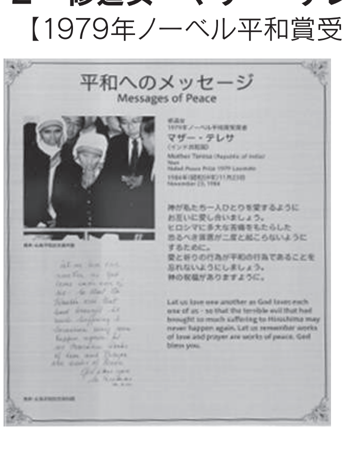
1　ローマ法王　ヨハネ・パウロ2世

（1981年2月25日）

「私の思いは
平和の思いであって、苦痛の思いではない」
と神はいわれる。

2　修道女　マザー・テレサ

【1979年ノーベル平和賞受賞者】（1984年11月23日）



神が私たち一人一人を愛するように、お互いに愛し合いましょう。ヒロシマに多大な苦痛をもたらした恐るべき罪悪が、二度と起こらないようにするために。

愛と祈りの行為が、平和の行為であることを忘れないようにしましょう。神の祝福がありますように。

３　主教　デズモンド・ムピロ・ツツ

【1984年ノーベル平和賞受賞者】（1986年８月５日）

私は人々が広島について話すのを聞いたことがあります。今、自分自身が目の当たりにし、完全に打ちのめされた気分です。これほどの被害を受けた広島の人々が、憎しみや復讐心を持っておられないことに、頭が下がる思いがします。彼らは世界平和を願っています。私はこのような恐ろしい出来事が、二度と起こらないことを祈ってやみません。素晴らしい広島の人々に、神の祝福がありますように。

４　平和運動家　アドルフォ・ペレス・エスキベル

【1980年ノーベル平和賞受賞者】（1988年11月12日）

日本の人々との連帯を表明します。ヒロシマは、このような悲劇を二度と繰り返さないという人類の証であり警告であると思います。私たちは、世界平和を築く人になることを約束しなければなりません。私の心からの友情をお伝えします。平和と幸運を祈ります。

５　物理学者　アンドレイ・サハロフ

【1975年ノーベル平和賞受賞者】（1989年11月４日）

悲しみが私の胸をしめつけます。どんな場所であれ、どんな時であれ、このようなことを二度と繰り返さないように、全力を尽くすことを、私たち皆が誓わなければなりません。

６　ジブチ共和国大統領　ハッサン・グレド・アプティドン

（1990年９月14日）

広島で起きた忌まわしい出来事は、この街の罪のない人々の中から、多くの犠牲を出すものとなり、世界が決して忘れることのない教訓となりました。ヒロシマは全人類のための犠牲となったのです。ここで見たものは、われわれが悔い改め、世界平和に向けてたゆまぬ努力を行うことへの決意を、固めさせるものなのです。

７　バイオリニスト　黒沼ユリ子

（1993年11月24日）

自分が人類の一員として生まれてきたことを、恥じなければならない証しを見る思いが胸をしめつけます。この償いをすること、二度と再びこのようなあやまちを人類がくり返さないようにすることが、人間としての人生を、これから終える私たちに残されている仕事だと思います。

８　チベット仏教の最高位者　ダライ・ラマ14世

【1989年ノーベル平和賞受賞者】（1995年３月30日）

言葉に表せない、想像を絶する破壊力を持つ兵器を、この地上から廃絶することは、我々人間すべての務めです。みなさん、どうか全力で、この務めにあたってください。

９　国際原子力機関（IAEA）事務局長　モハメッド・エルバラダイ

【2005年ノーベル平和賞受賞者】（1999年４月15日）

ヒロシマの悲劇を胸にきざみ、核兵器とすべての大量破壊兵器の廃絶を願い、そのための努力をいたしましょう。我々が平和と調和の中で暮らせるよう、神の御加護を祈ります。

10　パリ市長　ベルトラン・ドラノエ

（2004年11月４日）

広島の苦悩は我々の苦悩。広島の歴史は我々の歴史。人類の歴史。命のための、ここに希望の力あり。敬意と愛情をもって、皆ともに、命を守らねばならぬという、まさにその思想。

11　ドイツ連邦議会議長　ノルベルト・ラマート
（2008年9月2日）

「ヒロシマ」は、人類が犯しうる過ちの対象となった。「平和」と「自由」の実現なくして、相互に不可欠な両者の実現なくして、人類共通の世界に向けた、真の意味での進歩はない。ヒロシマは、この認識の象徴とならねばならない。

12　アメリカ合衆国大統領　バラク・オバマ
【2009年ノーベル平和賞受賞者】（2016年5月27日）

私たちは戦争の苦しみを経験しました。共に、平和を広め核兵器のない世界を追及する勇気を持ちましょう。

令和７年度　行事予定表

一般財団法人広島県動員学徒等犠牲者の会

年	月	日	曜	清掃後読経	月	日	曜	清掃（行事がないときは解散）
令和7年	4	9	水		4	23	水	理事会(西向寺)
						30	水	
	5	7	水	理事会(西向寺) (令和６年度事業報告・決算承認)	5	22	木	定時評議員会(西向寺) (令和６年度事業報告・決算承認)
	6	5	木		6	19	木	
	7	10	木	追悼式打ち合せ会（役割分担等） 会報「ともしび」封筒入れ（西向寺）	7	23	水	
	8	5	火	供養会	8	20	水	
		6	水	第69回原爆死没者追悼式				
	9	3	水	追悼式反省会(西向寺)	9	24	水	
	10	6	月		10	22	水	
	11	12	水					
	12	10	水	会報ともしび封筒入れ（西向寺）	12	17	水	懇親会
令和8年	1	7	水					
	2	5	木					
	3	5	木		3	23	月	理事会･臨時評議員会(西向寺) (令和８年度事業計画・予算承認)

注１　慰霊塔付近の清掃は，午前９時30分からです。雨天の場合も実施します。
　２　左欄は、慰霊塔付近の清掃後「西向寺」で読経。
　　　右欄は、行事がないときは清掃後解散。
　　　なお、「西向寺」様の都合によって，日程変更する場合があります。

ご寄付お礼

令和6年11月から令和7年5月までに、次の皆様から貴重なご寄付をいただきました。ご厚志、誠にありがとうございました。

仲　庫生　様
國本　悦郎　様
西村　光子　様

ご寄付いただく際には、左記の口座へお振り込みください。
ゆうちょ銀行
振替口座　01300－6－8858
一般財団法人 広島県動員学徒等犠牲者の会

あとがき

被爆八十年、あの日のことを直接見た人が少なくなっている今日こそ、被曝体験のない人々に被爆者が自身の体験を伝えることはとても意義深いものです。会員の皆様も体験したこと・伝え聞いたことを未来に残すため「ともしび」を活用して声を反映してみませんか。投稿をお待ちしています。

遺族が高齢化する中、志に共感された協力者の熱意とボランティア精神で会の運営が成り立っています。

しかし、近年参加者が段々減っています。益々のご支援をお願い致します。

そして、今一度力を振りしぼって会の行く末をみんなで考えてみましょう。犠牲者の遺族関係者がいなくなっても慰霊碑を守ってほしいと託された先輩の願いに添うよう真剣に取り組む必要があると思います。

（谷口）